

2018年1月4日

各位

2018年 年頭所感

セーレン株式会社

代表取締役会長 兼 最高経営責任者

川田 達男

明けましておめでとうございます。新年にあたりご挨拶申し上げます。

昨年は、企業を取り巻く環境を大きく変える、I o T・A Iを中心とした第4次産業革命の幕開けとなる年となりました。セーレンにおきましては、新時代に対応した BtoC ビジネスモデルの「Viscotecs make your brand」の拡大に積極的に取り組み、“BtoC 事業の構築”に向けて前進することができた年でした。また、グローバル展開におきましては、新拠点メキシコが本格稼働を開始し、さらに、蘇州での本革を超える新素材 QUOLE®の新工場建設、河北でのエアバッグ工場建設に着手するなど、海外事業の拡大に向けても、大きく前進することができました。そして業績面では、昨年11月の第2四半期決算で3期連続最高益を達成することができ、今春の通期決算におきましても6期連続増収・増益、3期連続の最高益更新が出来そうです。

本2018年、大きな時代の転換期を、さらなるセーレン飛躍のチャンスと捉え、セーレングループは以下に掲げる重点戦略に取り組んでまいります。

1. 市場は世界（グローバル化）

成長を続ける世界市場への集中をさらに深め、セーレングループのバリュープロポジション（付加価値）を活かせる市場・顧客をダイレクトに攻め、可能性をグローバルに広げていきたいと思いをします。

2. 情報化（I T戦略）

I o T（Internet of Things）やA I（人工知能）の技術が大きく進展する中、独自のデジタルプロダクションシステム「ビスコテックス」を軸に、さらなるI o T・A I活用を進め、省人、省資源、省エネルギー、カスタマイズを進めていきます。

3. ダイレクト、そして「素材」から「製品・商品」へ

セーレングループの一貫機能にさらに磨きをかけ、B t o Cおよびダイレクト化を拡大していきます。さらに環境生活資材事業、エレクトロニクス事業、メディカル事業など、非衣料分野における「製品化・商品化」を増やし、消費者へ魅力ある商品をお届けします。

セーレングループの2018年の経営目標を、「提案型の仕事」といたします。

社員一人ひとりが、担当する仕事を自分自身の課題と捉え、指示を待つのではなく、自発的に何が問題なのか、何が出来ていないのか、そして、何をやらなければならないのかを考え、改善や問題解決について積極的に提案・実行し、やりがいと自己成長を実感し、会社成長へとつなげていきたいと思いをします。

そしてI o T、A Iの進化で、仕事の質も変わってきます。新しい時代の働き方はどうあるべきか、労働時間や質、仕事に対する考え方、やり方を変えていく“働き方改革”に取り組んでまいります。

セーレングループは全員参加で会社を変え、「夢」の実現に向けて邁進してまいります。みなさまのご支援をお願いしますとともに、本年がみなさまにとりまして良い年となりますことを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

以上